

株主との対話の実施状況について

● 対応方針

当社は、以下の方針に従って、株主・投資家等との建設的な対話を促進してまいります。

- (i) 社長直轄の I R・広報室が I R 業務に係る統括を行っており、I R 専任担当者のほか、必要に応じて最高戦略責任者（C S O）及び最高財務責任者（C F O）などが株主・投資家等との面談を実施しております。
- (ii) I R・広報室は、経営企画部門、総務部門、経理・財務部門などの連携を図るため、株主・投資家等からの意見などの情報交換の機会を設けるとともに、必要に応じ関係する業務執行部門への情報提供を行うこととしております。
- (iii) 経営計画、事業及び財務状況等に対する株主・投資家等の理解を深めるため、当社ウェブサイトにて年次報告（統合報告書）や決算短信・決算参考資料等を開示することとしております。
また、中間決算及び期末決算の公表後に決算説明会を開催し、社長及び最高財務責任者（C F O）等が建設的な対話の促進に努めております。
- (iv) 株主・投資家等との対話を通じて把握した当社への意見等について I R・広報室で取り纏め、取締役会はその内容を反映し適時開示を行うこととしております。
- (v) インサイダー情報の管理につきましては、「内部者取引防止規程」を制定し、役員及び社員に徹底するとともに、特に当該情報に接する部門においては責任者を定め、その取扱いに万全を期すよう努めております。

● 決算説明会（アナリスト・機関投資家対象）

【2024 年度 開催実績】

開催月	内容	当社対応者	参加者等
2024 年 5 月	通期	社長、CSO、CFO 他	機関投資家 44 名 証券会社 13 名
2024 年 11 月	中間期	社長、CSO、CFO 他	機関投資家 62 名 証券会社 11 名

● 投資家との対話

【2024 年度 面談実績】

投資家等	実施回数	当社対応者
国内投資家	53 回	CFO、IR 担当者 他
海外投資家	96 回	CFO、IR 担当者 他
証券会社	22 回	IR 担当者 他

● 対話の主なテーマ

①事業環境

市場・建設業界全体の動向

資機材・労務費の高騰、価格交渉に関する状況

要員・施工キャパシティの状況

東京電力におけるレベニューキャップ制度に関する事項

②業績

セグメント別の状況

受注時採算の動向

中長期的な業績の見通し

③ESG 関連

TCFD 提言に対する対応状況

ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンのための取り組み

取締役会、指名・報酬等委員会の構成

④資本政策

政策保有株式の売却状況

成長投資に関する内容

株主還元方策